

緑 中 通 信

～自分が楽しく、みんなも楽しく～

発行責任者：郡山市立緑ヶ丘中学校長 柳沼久裕

君たちは確かにコロナ禍を乗り越えた！！

卒業式ではこんな話をしました

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回も、平成まで行われてきた本校伝統の卒業証書授与式の格式を継承することができず、在校生の、体育館内での参加も見送らざるを得ませんでした。各学年の多目的ホールで参加している在校生の皆さん、卒業証書授与式の厳粛な雰囲気のリモート映像で感じながら、卒業生の旅立ちをしっかりと見守ってください。

あらためて、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私は今、卒業する111名の皆さん一人ひとりに、卒業証書を授与することができたことに、ほっと胸をなでおろし、喜びがこみあげてきております。

コロナ禍における様々な制約や制限の中、緑ヶ丘中学校の学校行事・生徒会活動のあり方に、新たな伝統を築き上げ、本校を巣立ちゆく卒業生のみなさんに、心からお祝いと感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとう。

この旅立ちの日に、私から、二つの言葉を贈ります。

まず一つ目は、「**自分の命、他とのつながりを大切にしてほしい。**」ということです。

まずなんといっても、かけがえのない皆さんの命、そして人生を大切にしてください。これが何よりも伝えたいことです。そして、生きていく中でのさまざまなつながりを意識し、大事にしてほしいと思います。あなた方には、好むと好まざるとに関わらず、さまざまな「つながり」の中で生かされていることを自覚してほしいのです。「家族とのつながり」「友とのつながり」「社会とのつながり」など、それぞれのつながりの中で、「何ができるか」「どう判断すべきか」をしっかり考え、行動できる人になってほしいと思います。つながりを大事にして行動することが、結果として自分を大切にすることになることを実感する日が必ず訪れるはずです。「自分を大切に、つながりを大事に」、みなさんの心に刻まれるよう切に望みます。

二つ目は、「**正解のない世の中で、当事者意識をもって、自分の生き方を考えることができる人になってほしい**」ということです。

小中学校九年間の学びの多くは、あらかじめ用意された正解にどうたどり着くかを身に付ける学習だったと思います。しかし、今後の上級学校進学を経て、やがて出ていく社会は、正解が用意されていません。今回の「コロナ禍」では、みなさんもそのことを、少なからず実感しているのではないのでしょうか。コロナウイルスの陽性者数をゼロにしたい。誰もが願うことです。そのためには、人の流れを完全に止めればよい。これも分かっていることです。しかし、それでは、さまざまな職業が成り立たなくなり、生活が困窮し、違う社会問題が大きくなってしまふ。「感染防止」と「経済」の両立の難しさ、みなさんも新聞・テレビ・ネットの情報等で耳にしたことがあるでしょう。このように、社会では、「この一手で万事解決」等ということはほとんどないのです。コロナの問題、東日本大震災における原発事故の問題、ネット社会の様々なトラブルなど、「正解のない問題」が今後の皆さんの肩にのしかかってくるのは間違いがありません。そこで皆さんに持ってほしいのが「当事者意識」です。人任せにせず、自分のこととして受け止め、考える意識を持つことです。みなさん一人一人の意識と行動を変えることで、必ずや問題を解決することができる、そして、社会を変えることができると信じてください。よろしくお願いします。

さて、保護者の皆様方には、お子様のご卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。また、本校在籍三年間、とりわけ新型コロナウイルス感染防止のために、変更及び中止にせざるを得なかった教育活動・PTA活動にも、温かいご理解とご協力をいただき、衷心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

以上、私が掲げた「自分が楽しく、みんなも楽しく」を、三年間身をもって体現してくれた卒業生の皆さんに、心からの敬意と感謝を表するとともに、卒業生の皆さんの輝かしい前途を祝し、式辞といたします。